

## 昭和通りを明るくした一名所 和泉廣場の設備

復興局では新春を壽ぐ復興帝都を華かに色彩を添へるべく昨年末來、道路及び橋梁工事に大馬力をかけてゐるが、道路工事は昨年末に於て餘す處二分こなつた。洩れ承る處に依れば、畏くも天皇陛下には新春を期してこの新裝の復興帝都を御巡幸遊ばされる由であるが、茲に紹介するのはその復興道路中、上野廣場に次ぐ代表的なものとして、既に完成に近づきつゝある和泉廣場で、工事は復興局第二出張所の施工、宮長平作氏の請負になるものである。

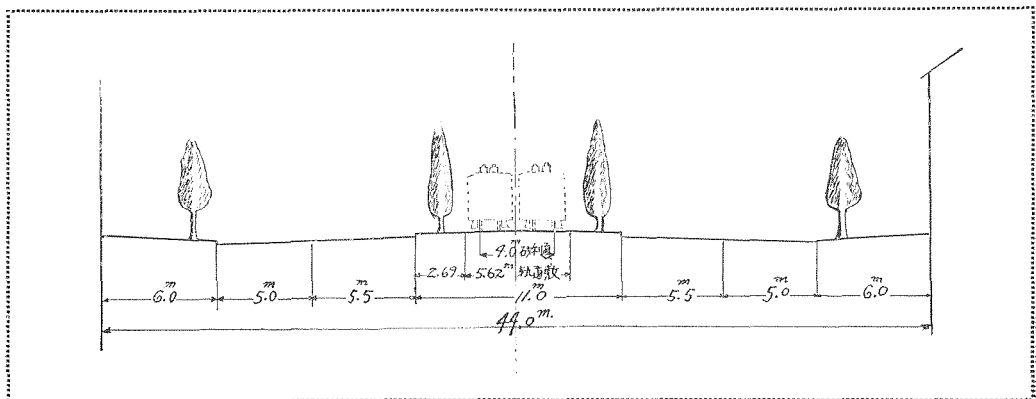
昭和の御代を飾る一大道路工事たる復興局の一號線は今度昭和通りと命名されて帝都市民に一層印象深いものこなつた。新橋の三十間堀コーナーから下谷車坂の上野驛前まで幅員實に44米の新道を設けるのである。地方道路としては京濱國道あり、阪神國道あり、又工事中のものには東京府に東京還狀線と云ふ巨大な道路工事もある。大阪市にも都市計畫の一大道路工事が何れも近代的の施設を以て盛んに進められつゝある。昭和通りは東京の眞中を貫く點に於て大阪市の御堂筋線（工事畫報昨年十月號に紹介）に似てゐる。御堂筋は

中之島の大阪市役所前から淀屋橋を渡るま直ぐに幅員24間の大道が出来たのであるから、一昨年まで昔の儘であつた細い道路が全然面目を一新したわけである。

東京の昭和通りは未だ掘返して工事最中の處もあるが大部分は竣工した、今春中には全部の竣工を見る筈である。

昭和通りの特長は幅員44米の中央に電車軌道を挟んで植樹帯が在り、其兩側が車馬道で其兩外側が歩道こなつてゐる（下圖参照）が、新設備として上野廣場と、和泉廣場を有する事は最も誇るべき都市の美觀である。

上野廣場は昭和通りの中で第一のものである。交通上からも複雑した研究價值のあるものである。第二位の和泉廣場は神田柳原の和泉橋詰に新設されたもので、第2圖の鳥瞰圖に見る如く中央の陸島、植樹、噴水、照明等實に模範的な設備である。和泉廣場工事は車道はシートアスファルト及び小鋪石の鋪装で歩道はアスファルトであるが、特に横斷歩道はクリンカー及び白色コンクリート施工である。



第1圖 帝都幹線道路一號線所謂昭和通りの横斷面略圖



第2圖 和泉廣場鳥瞰圖、左下角が和泉橋、右上角が新橋方面に向ふ。



第3圖 和泉廣場工事中、圖の中央上が和泉橋、竣工は今春四月頃の豫定。